

『基礎教育保障学研究 (The Journal of the JASBEL)』原稿執筆要項 (改訂版 2018. 9)

1. 原稿執筆については、以下のとおりとする。

(1) 表題及び本文の使用言語は、原則として日本語とする。

(2) すべての投稿原稿には、表題、著者名、所属を、加えて学術論文には本文の要約（日本語）を 400 字以内で作成し、別添で提出する。

(3) 投稿が受理された学術論文には、上記(2)の他に、英文の「タイトル」「名前・所属」「キーワード（5 語以内、アルファベット順）」
「英文要旨（300 語 words 内）」を別途指示し、作成を依頼する。

(4) 原稿はすべて A4 判で横書きとする。

① 1ページの文字設定を「40 字×36 行の 1 段組」 (=1,440 字) とする。

② MS-Word、一太郎等によるデータファイルを作成すること。

③ 余白の設定は「上 35mm、下左右 30mm」とすること。

④ フォント、書式、章、節、図表タイトルについては、「書式設定された形式」(学会ウェブサイトに掲載)にしたがって示すこと。

⑤ 本文中に「注」を用いる場合は、その箇所^の右肩に通し番号を記し、本文の最後にまとめて記載する。引用文献と注の両方を活用する場合には注の一覧を先に、引用文献一覧を後にまとめて記載する。なお、編集上の理由から、MS-Word 自動注釈機能は使用不可とする。

(5) 文体は原則として「である調」とし、常用漢字、新仮名づかいを用いる。英数字（アラビア数字）は半角文字を用いる。

(6) 年次については西暦年次の使用を原則とし、元号を使用する場合には、初出の年次に平成〇〇（20 〇〇）年と西暦年次を併記する。

(7) 文献や注にインターネット上の URL を記載する場合は、アクセスした年月日を明示する。

(8) 図（写真を含む）・表は挿入箇所を本文中に示し、別添で一式を提出すること。その際、画像データではなく、MS-Excel・MS-Word 等のデータファイルを提出すること。

2. 投稿の際、原稿送り状を基礎教育保障学会のウェブサイトからダウンロードし、利用することを推奨する。
3. 原稿（図・表の別ファイルを含む）は MS-Word 等のデータファイルとし、原稿送り状とともに、編集委員会事務局までメール添付で送信する。送信時の件名は「基礎教育保障学研究・投稿（著者名）」とする。
4. 原則として、原稿の章の見出し番号はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、節の見出し番号は、1、2、3、とし、項の見出し番号は、1)、2)、3)、とする。
5. 句点は「。」、読点は「、」とし、1文字分を占めることとする。
6. 原稿送付前に表記のゆれがないことを確認する。例えば、「一つ」「ひとつ」、「従って」「したがって」をどちらかに統一する。
7. (1) 本文中の文献引用は、著者名（発表年）または文末に（著者名発表年）と記入する。ページ数を表記することが必要な場合には、著者名（発表年ページ数）または（著者名発表年ページ数）とする。
【直接引用】（例）「.....である」（田中、2006, p.14）と定義される。田中（2006）は、「.....である」（p.14）と定義している。
【間接引用】（例）Robinson(2000)によれば、次のようなモデルが検証されている。○○に影響を及ぼすという研究がある（小林、2012）。
- (2) 連名の場合は著者の間を・で区別し、3名以上の著者の場合は、筆頭者のあとに「ほか」もしくは「ら」と記載し、それ以下の著者名は省略する。欧文表記の場合、3名以上の場合は筆頭著者のみ挙げて et al. とする。文献は引用文献一覧として論文の末尾に記載する。
8. 引用文献一覧の配列順序は、和文献と洋文献を区別しないで、筆頭著者の姓のアルファベット順とし、下記の様式に従い記載する。なお連名の場合、著者の間に・を入れ、全ての著者名を記載する。
【単行本の場合】（例）山田太郎、『基礎教育保障の歴史』、教育科学出版、2008年

【単行本中の分担執筆論文の場合】 (例) 山田太郎、「基礎教育保障と人間発達過程」、鈴木花子・田中次郎編『日本における基礎教育保障研究の発展過程』、教育科学出版、2008年、129-156頁。

【雑誌の場合】 (例) 山田太郎・鈴木花子、「環境保全活動における参加者の環境に関する知識の変化」、『基礎教育保障学』、2008年、34: 129-138。 欧文の参考文献の場合、単行本や雑誌の名称はイタリック体とする。

(例) P. Williams, *A Journal of Comparative and International Education*, volume 43, pp.120-135.

9. 同一年に同一著者の複数文献からの引用があった場合、著者名、年のあとに、a、 b、 c を入れる。

10. 英文表示の著者名は、下記のように姓を先に記載し、コンマをつけファーストネーム等と区別すること。

(例) Yamada, T. and Suzuki, H., 2008, *Developmental Process of Basic Education Study in Japan, Basic Education*, 2(2), pp.8-21.

11. 日本語、英語以外の文献については、必要に応じて原語表記に括弧書きで日本語訳、英語訳を付す。

12. 巻・号のある雑誌で通巻ページの場合、号数は省略する。毎号ページが変わる場合には号数を () に入れ、例えば、2 (2) のようにしてページ数を記載する。

13. 論文を引用文献一覧に「印刷中」として示すためには、その論文がすでに受理されていなくてはならない。その場合、当該論文の複写と、受理のレターを投稿論文送付とともに PDF ファイルで添付する。

2017年2月19日理事会承認

附則 この改訂は、2018年9月2日より適用する(第3号より)。